

献血者が減っています  
献血にご協力ください：十二日(土) ⑩～⑬時(昼休憩あり) パロー芥見店にて。献血は命を助けるボランティアです。(主催赤十字奉仕団芥見東分団)

## 年頭メッセージ 岐阜市の元気は地域から



輝かしい新春を向かえ、心からお喜び申し上げます。

芥見東地域におかれましては、昨年度、まちづくり協議会を立ち上げ、さまざまな議論を重ねられました。それを踏まえて、本年度はいよいよ具体的な活動へと移っていく飛躍の年になると期待しています。

地域にお住まいの皆さんが、主体的・積極的に地域課題の実現に取り組まれることは大変素晴らしく、ひいては住民満足度を高めることに繋がります。こうした活動こそが今まさに求められている住民自治であるといえます。

岐阜市では、昨年4月に施行された住民自治基本条例をより実効性のあるものとするために、行動計画(アクションプラン)の策定を進めています。これは協働のまちづくりに向けて、行政が何をすべきかを具体的に示し、より積極的に皆さんのまちづくりを応援しようというものです。

皆さんのご意見を反映させながら、充実した内容にしていきたいと考えています。

昨秋開催された「芥見東まちづくりトーク」=写真=においても、皆さんからコミュニティバスの導入への強い意欲と道筋が提示されました。地域の皆さんと議論を深め、利用しやすいコミバスの導入に向けて、皆さんのご意見を伺いながら、協働で進めていきたいと考えております。

本年も芥見東地域の活動がさらに活発になりますことと、皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

波板 細江茂光

## この1年 コミバスを地域発展の試金石に

——芥見東自治会連合会々長・多田 喜代則  
新年あけましておめでとうございます。

本年が皆さま方にとって、地域にとって、より元気で明るく実り多い一年でありますようお祈りいたします。

昨年は、「まちづくり協議会」など各種の体制を整え、青色回転灯防犯パトロールも始めました。春からは、「コミュニティバスの導入」に向け、社会福祉協議会を始め各種団体やボランティアの皆さんのご協力、ご努力によって準備作業が進められてまいりました。

11月の「まちづくりトーク」では、細江市長さんから“このコミバスは成功する!”という講評があり、取組みの方向性が正しかったとの思いを深くしました。

今年の最大の目標は、この「私たちのバス」がスムーズに発車して多くの皆さま方のご利用によって順調な運営成果が上がることです。

この地域のまちづくり、地域発展の試金石として、「コミバス」が皆さまに可愛がられ、地域の足として活躍するよう、自治会も、準備チームも汗をかき、今年の干支よろしく忙しく駆けずり回ることになるでしょう。

**コミバス試行運行までの主な流れ**を示します：

- ①議会で予算審議・承認：3月  
→ルート、ダイヤを確定
- ②運行事業者を公募・決定：4月  
→中部運輸局が事業承認
- ③バス停設置、回数券を販売
- ④試行運行を開始：6月(予算執行の都合で4月から遅れます)



桐が丘・西村恒子さん作

皆さまのいっそうのご協力をお願いいたします。□■

## 明るい次代に向かって



藍川東中 駅伝大会



12/14

## 写真で振り返る07年...



新成人を祝う



コミバス調査始まる



ヒヤリハットとマップを作る



青色回転灯パト始まる



ゴミゼロを目指す



子どもスポーツフェスタ

ご意見や話題・知恵・要望などご投稿を歓迎します⇒東公民館\* ほかお近くの本部・支部の役員までお願いします。

「コミバス愛称等応募」引き続き受け付けます



配布

大洞	4-82
東山	3-55
北山	38-371
コモン北	6-88
桜台	23-336
桜市	41-314
柏台	31-338
柏市	26-220
桐丘	23-202
桐市	6-43
紅葉	21-269
紅市	16-147
桜2P	1-26
計	239 /2491

**協働の心 巨樹を支え合う根に感謝して**

—桐が丘支部長・加藤 智治さん

NHK ラジオ深夜便「心の時代」を聞いていると、「巨樹を観る会」というのがあって、天に聳える巨樹を見て、幹の太さや枝葉の繁りを賛美するそうです。けれども、その樹を、目には見えない何千何万という根が支えていることにまで意を配る人は少ないとの付言あり、私も例外なく意を配らないその一人であったと感じました。

私たちの自治会でも、より良い地域づくりのために連合会や自治会役員の方、多くの皆さまが日夜協働しておられます。この「自治会だより」も、企画、原稿集め、執筆から編集・校正、印刷、配達・・・まで、目に見えない多くの努力により毎月伝達されてきております。

私はこうした皆さまに対し、役を仰せつかるまでは漠然とご苦労さんだなぁという軽い程度にしか感じておりませんでした。支部長という役も、やってみて実にさまざまな役員・自治会員の皆さまの温かいご指導とご協力という支えによって活動させてもらっていることをつくづく感じました。



ゴミゼロに励む筆者(左)

これからも皆さまに感謝しつつ務めてまいります。

**子ども ふるさとは生きる未来の出発点**

先月開かれた芥見東各種団体協議会で、岐阜市の安藤征治教育長より以下の趣旨の講話がありました：

『この校区は、通学路の見守り、子どもスポーツ・フェスティバルの企画・進行、校内駆伝での安全確保・応援など、学校も子どもも地域の人々から支えられている。

中学生と語る会、中学生による小学生アスリートの指導、園児・生徒の交流会、山田川の子ども・保護者・自治会総出の清掃活動など連携プレーも素晴らしい。

子どもにとってふるさとは原点。地域での様々な活動を知らせることで、子どもの心にふるさとの景色や人との関わりを遺してやり、大きく羽ばたかせて欲しい。

まちづくりの基本は家庭づくり。子どもを大人としても扱い、地域で人のために生きる体験が重要。中学生を防災訓練に参加させる試みはぜひ進めてください』

**社会 今年の‘漢字’はどうなるのだろう？**

—桐が丘支部の方より

昨年の世相を表す漢字は、なんと「偽」だった。

ひき肉に始まり、白い恋人、赤福、高級食材と、食への信頼が揺らぎ、年金・政治資金についても「偽り」に驚き、呆れ、憤った。とにかく不振一色の一年だった。

確かに、こうした事を行った当事者が一番悪いことには違いないが、じっくり考えてみるに、消費者あるいは国民にも反省すべき点が無くはないだろうか。

食品購入時、製造地が遙か遠いのに、製造日がある日であれば、偽装を疑わなければいけないし、高額商品もブランド名だけに振り回されていれば、いいように利用される。年金、政治資金問題についても、もっとキチンと対処できる政治家を選ばなくては、・・・等々。

さて、今年はどうなる年になるのだろうか？そして、世相を表す漢字はいかに？ □■

**2008年 まちや暮らしはこう変わる**

今年の動向—情報の量と内容で定評のある各務原商工会議所の先見経済セミナー(講師:矢田環境デザイン研究所長)から一部ご紹介しますと：

■コンパクト・シティ—集まって暮らせば行政コストは割安になる。青森市や富山市などではこの方法を進めており、地方財政建て直しの成果を出しつつある。

■市民参加型自治体—財政悪化が深刻な地方自治体が増え、政府は早期再建を促す「地方財政健全化法」を施行する。「地方の元気再生事業」も予算化。

■セーフティ・タウン運動—多発する空き巣などに対し、東京・世田谷では、多くの住民が防犯を兼ねた犬の散歩を行い、5年間で侵入盗が半減した。福島県では、民間交番が開設され、住民が交代で詰めている。

■節約大作戦—給与伸び悩み、物価値上げ、環境保全・・・などから消費は冷え、節約家庭が増える；風呂水活用、IP 電話、ポイント・マイル制、フリーマーケット、家庭菜園、ノーカー、急発進・アイドリング止め、自転車の活用など。

■脱 CO<sub>2</sub>—日本の CO<sub>2</sub>は90年度比 7.8%増え、京都議定書の目標達成は難しい。脱 CO<sub>2</sub>は08年の社会を大きく変える概念に。家庭もその取り組みが必要；国も積極支援するコミバスや公共交通の利用など。□■

**写真で振り返る07年(1面より続く)・・・**



地区別に防災訓練



中学生と語る会



夏祭り盆踊り大会



敬老会でマジックに興じる



市民運動会で大声競う



東中生も高齢者福祉大会へ

★新成人を祝う会

600名(該当者800名)の新成人が十四日、東部コミセンで祝福を受けます。

★藍川東中生は起業家体験として岐阜生協と共に独自のエコバッグの商品化を進めています。